

目次

1面

国際婦人デー3・4集会に結集しよう  
平和に生きる権利を手ばなすな！

国際婦人デー3・4東京集会実行委員会

2面～3面

労働組合が先頭に立つために——前号HOWS労組反戦行動報告を読んで  
他人事を自分事にできる姿勢を  
地道な学習や交流が仲間を作る

高野飛鳥（全国労働組合連絡協議会青年委員会代表幹事）

反戦運動の難しさも教えた紙面  
機関紙を配る組合員を信じる

高井一聴（自治体労働組合勤務・ケースワーカー）

反戦に取り組む姿勢に強く共感  
仲間の大切さを学ぶ機会にも

広浜綾子（出版ネッツ）

70年代初めの組合作りを思い返す  
われわれの唯一の力は団結

宮坂静生（東京在住・元民間労働者）

「反戦運動の先頭」はいまはまだ「理想」  
そこに向かう活動を作りたい

桜井晴彦（千葉県在住自治体労働者）

職場の同僚との関係に即して  
感性に働きかけることの意味

米丸かさね（清掃労働者）

何も知らなかった新人組合員から  
わたしの内部に新たな地平が

鳥原直久（高校教員）

二月、三月の労働者・人民集会に参加を！

- ・2月14日(火) コロナ禍と物価高騰のなかをどう生きる
- ・3月22日(水) 主権者スルー改憲が壊しつつあるもの

労組反戦行動実行委員会が情宣行動

3・3反戦春闘首相官邸前行動に集まろう

4面

HOWS講座「いま労働者・労働組合が立ちあがるために」の討論から  
わたしたち労働者・労働組合が人類的脅威を食い止める主人公である！

須田光照東部労組書記長＋庄子正紀全労書記次長＋出席者

5面

エッセイ

戦争を知らない世代の人たちよ——日々気概を持って

吉田和子（東京都在住・92歳）

労働者通信

情勢は厳しくなるが活動家の高齢化は進む  
運動を次世代に繋げるには何が大事か

みずま雪絵（葛飾区議会議員）

労働者通信

爆破予告で職場は騒然  
人命軽視と言われかねない当局の対応

藤本愛子（公務労働者）

前照灯

生理休暇

## 6面～7面

安保大転換と闘う——各地の反戦活動家から

神奈川 「平和構想提言」ベースに議論

「戦争反対」の大きなうねりを！

高梨晃嘉（「共同行動のためのかながわアクション」代表世話人）

沖縄 ミサイル想定した避難訓練強行

平和外交こそ効果的な「抑止力」

桃原功（宜野湾市議）

滋賀 あるべき運動のスローガンとは

専守防衛でなく平和憲法守る集会に

稲村守（9条ネット・滋賀 事務局長）

沖縄 辺野古NO！署名活動を展開

弾道ミサイル想定訓練の実施に抗議

枝川敏夫（沖縄県在住）

東京 立川自衛隊監視テント村五〇年

しかしオスプレイが飛んでくる

大洞俊之（立川自衛隊監視テント村・立川反戦ビラ弾圧事件元被告）

岩国 米兵が車窃盗事件起こす

事件に抗議する署名運動を展開

田村順玄（あたごやま平和研究所）

京都 米軍の人身事故隠蔽を許さない

安保廃棄・基地撤去を求める！

駒井高之（米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会）

労働者通信 安保3文書の機動展開構想

「南西防衛」に民間フェリー6隻体制

竹中正陽（海員組合員）

福島県三春町で小出裕章さんの講演を聞く  
反核・反差別としての反原発  
原発の危険と不条理に反対する論理の強化を

大村歳一

原発政策の大転換に反対する！  
原子力産業救済のための原子力政策を許すな  
いま、できることは何でもやろう！

中村泰子（再稼働阻止全国ネットワーク）

老朽・被災原発は超危険  
東海第二原発再稼働を阻止する行動へ

横田朔子（とめよう！東海第二原発首都圏連絡会）

## 9面

渋谷区立美竹公園で野宿者を強制排除  
「生存権」奪う暴挙に抗議する

秋山真也

連載 2022 沖縄からのレポート ⑪（最終回）  
ハンセン病と沖縄(3)

西浦昭英（名護市在住）

## 10面

いまだから読みたい 戦争と平和を考える三作品（続）

二瓶一夫（年金生活者）

- ① 「中国の勝利は全アジアの明日への鍵である」（長谷川テル・『嵐の中のささやき』所収）新評論
- ② 『迷路』（野上弥生子）岩波文庫
- ③ 「国際労働者協会創立宣言」（マルクス＝エンゲルス・『全集』第一六巻）大月書店

豊島耕一（佐賀大学名誉教授）

- ① 『自衛隊も米軍も、日本にはいらぬ！』（花岡しげる）花伝社
- ② 『市民的抵抗』（マイケル・ランドル）新教出版社
- ③ 『米国の科学と軍産学複合体』（スチュアート・W・レスリー）緑風出版

立野正裕（元明治大学教員）

- ① 『失われた兵士たち 戦争文学試論』（野呂邦暢）文春学藝ライブラリー
- ② 『ある兵士の手記』（宮前鎮男）芙蓉書房
- ③ 『日本文学の扉をひらく第三の扉—戦争とたたかった人たちの物語』（立野正裕）スペース伽耶

清水雅彦（日本体育大学教員）

- ① 『火の鳥』（手塚治虫）角川文庫
- ② 『戦争がはじまる—福島菊次郎全仕事集』（福島菊次郎）社会評論社
- ③ 『日米安保と戦争法に代わる選択肢—憲法を実現する平和の構想』（渡辺治・福祉国家構想研究会編）大月書店

岡野奈保美（春日部在住）

- ① 『戦争案内—映画製作現場アジアからの報告』（高岩仁）技術と人間
- ② 『高校生が追う ネズミ村と731部隊』（埼玉県立庄和高校地理歴史研究部＋遠藤光司）教育史料出版会

③『戯曲 ガリレオ〔チャールズ・ロートンの協力による英語版〕』（ベルトルト・ブレヒト・笠啓一訳）績文堂出版

高演義（フランス文学者）

- ① 『ペスト』（カミュ）新潮文庫
- ② 『トロイの木馬』（ポール・ニザン）晶文社
- ③ 『夏の花』（原民喜）岩波文庫

山口直孝（二松学舎大学教員）

- ① 『神聖喜劇』（大西巨人）光文社文庫
- ② 「現代史の時代区分」（花田清輝・『骨を斬らせて肉を斬る—花田清輝批評集』所収）忘羊社
- ③ 『ヤマザキ、天皇を撃て！』（奥崎謙三）三一書房

国際短信 世界のいま

〈韓国〉民主労総への弾圧——国情院が強制捜査

土松克典

## 11 面

イギリス労働運動

労働組合を標的とするイギリス保守党

ストで人が死ぬ？ 人が死んでいるからこそイギリスの看護師たちはストライキで闘う

沖江和博

## 12 面

山口正紀さんを悼む

世の不義にペンで立ちむかった生涯

土松克典

頂門一針

加害者意識

『国際主義——国際政治資料と理論研究誌』第六号刊行  
プロレタリア国際主義の旗を掲げて

『国際主義』編集委員会

『国際主義』第6号（1月発行）

編集部発